

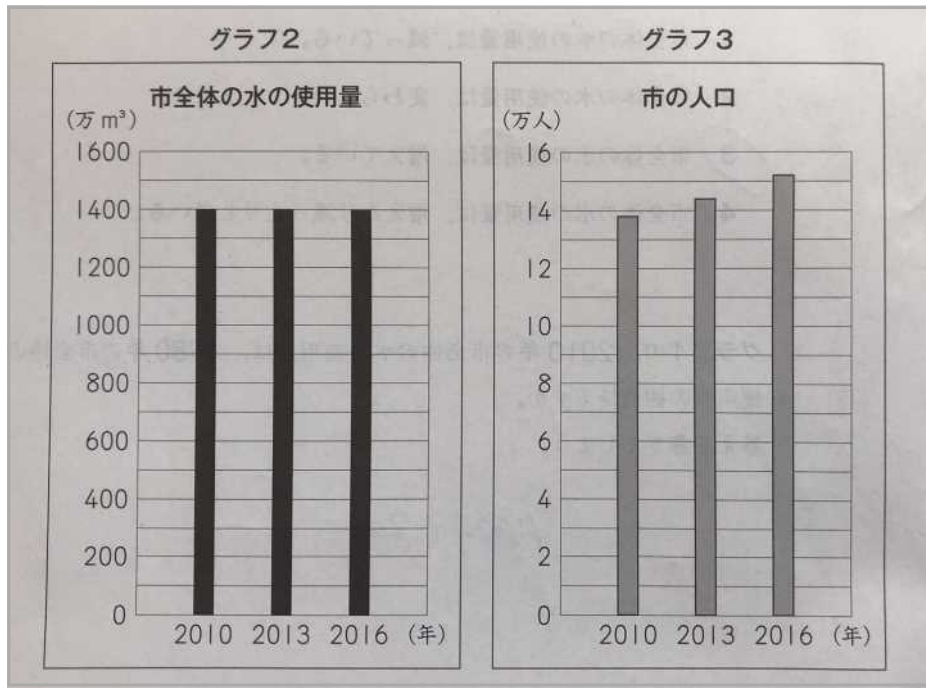
R1.9.2 荒尾市立府本小学校

（総括）

- 本校6年生の本調査における結果は、国語・算数ともに「きわめて良好」と言えます。
- しかしながら、一人一人の学習状況や設問内容によっては課題がありましたので、その点、今後の授業や家庭学習に生かしていければと考えます。

（課題が見られた問題から）

*いちばんでできなかったのは、算数の2つのグラフの関係性を読み解く問題でした。理由に3つの条件を入れないといけません。40%の正解率でした。



問い:この2つのグラフから3年ごとの水の使用量について、どんなことがわかりますか。1～4から1つ選んで、そのわけを2つのグラフからわかることを言葉や数を使って書きなさい。

- 一人あたりの水の使用量は
- 1:減っている。
 - 2:変わらない。
 - 3:増えている。
 - 4:増えたり減ったりしている。

(番号) 1

(わけ) この問いに対して2つのグラフからわかることが3つある。①一人あたりの水の量は「全体の使用量÷人口」で求められること。②全体の使用量は変わっていない。③(それに対して)人口は増えている。この3つの条件を入れてまとめる。

一人あたりの水の使用量は、市全体の水の使用量÷市の人口で求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていませんが、市の人口は増えています。だから、一人あたりの水の使用量は、減っています。

（今後の取組）

- 少人数指導の特色を生かしつつ、「あらおベーシック」授業スタイルを基に、今後もきめ細かな指導を行っていきます。
- 家庭学習の充実が課題の1つでもあります。メディア時間とのバランスを各家庭でもご指導ください。
- 「新聞を読むと好成績」と本調査における文部科学省見解があります。朝自習や授業で折に触れて新聞を活用するとともに、引き続き読書指導を充実させていきます。
- 「自分にはよいところがあると思うか」（自尊感情）に対して、はっきり YES と言える子どもたちに育てていくためのキャリア教育の充実を図っていきます。

新聞を読む子は正答率が高い！

全国学力テストの児童生徒アンケートで、
新聞を読む頻度とテスト結果を文部科学省が分析したところ、
よく新聞を読む子どもの方が、平均正答率が高いという結果が出たそうです。
家庭や学校で新聞を読むことは学力向上に効果があると言えます。